

CEOメッセージ

まだ、ここにはない、出会い。
より速く、シンプルに、もっと近くに。

リクルートグループは、
ステークホルダーのみなさまとともに、
ミッションの実現に全力で取り組んでいきます。



代表取締役社長 兼 CEO
峰岸 真澄

■ リクルートグループが目指すもの

いま、私たちは急激で大きな変化の中に生きています。例えばインターネット登場後にCPUの処理速度は150倍、家庭用固定通信速度は1,000倍、携帯電話通信速度は100万倍に達しました。*1

情報の伝わり方の変化は人々のライフスタイルを変え、経済を変え、ひいては社会のあり方や地球環境にまで大きなインパクトを与えています。そしてこの大きく速い変化を支える枠組みやルールもまた、膨大で複雑なものに変わってきました。多くの人々がこうした変化を自らのものとし、人生についてより自由な意思決定ができる環境を享受する一方で、すべての人が変化の恩恵を受けているわけではありません。むしろ複雑な情報を読み解き技術を活用できる人々と、そうでない人々との格差は広がってきています。格差は、国と国の間でも、1つの国の中でも、また異なる人々のグループの間でも拡大しているように感じられます。

このような時代であるからこそ、一人ひとりが自分に素直に、自分で決める自分らしい人生、つまり「Follow Your Heart」を可能にする社会が求められています。創業以来「一人ひとりが輝く豊かな世界の実現」を目指してきたリクルートグループは、私たちの事業活動を通じて人々により多くの選択肢を提供することで理想の社会の実現に大きく貢献できると信じています。

統合報告書のテーマである「まだ、ここにはない、出会い。より速く、シンプルに、もっと近くに。(Opportunities for Life. Faster, simpler and closer to you.)」は、こうした思いをもとにリクルートグループのミッション(果たす役割)を言語化したものです。私たちはこのミッションのもと、高い志と技術力によって、圧倒的に優れたマッチングソリューションを提供することで、個人ユーザーや企業クライアントの多様なニーズにお応えしようと努めています。統合報告書を通じて、私たちが大切にしている価値観、そして経営理念が、すべての戦略ビジネスユニット(SBU)における日々の事業活動の中に根付いていることをステークホルダーのみなさまと共有できればと思っています。

*1 出典：総務省「通信自由化以降の通信政策の評価とICT社会の未来像等に関する調査研究」(2015年3月)

*2 2015年9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標

国際社会が2030年に実現しようとする未来設計図である持続可能な開発目標(SDGs*2)はその冒頭で、すべての人が一層大きな自由を追求できる社会を目指すと宣言しています。一層大きな自由とは、多くの選択肢から人生を決められる機会があることを示すのであり、

それはすなわち、すべての人が「自分らしい」人生を選べることを意味します。この意味で、リクルートグループが目指す世界観「Follow Your Heart」は、人類が目指す未来と寸分も異なりません。私たちがその未来の実現に大きく貢献できる企業であると信じ、真摯に努力を積み重ねていきます。

■ 2019年3月期の振り返りと今後の展望

リクルートグループは、上記のような社会的な役割を明確に経営理念の中に織り込みながら、1960年の創業より一貫して、社会や顧客の不満や不便や不安といった「不」の解消に真摯に向き合い、個人ユーザーと中小企業を中心とする企業クライアントの間に立ち、日本国内そしてグローバルに事業を展開してきました。2019年3月期通期の連結売上収益は2兆3,107億円(前年同期比6.3%増)、連結EBITDAは2,932億円(前年同期比13.5%増)と、ともに過去最高を更新しました。

私たちはこれからも、圧倒的に優れたマッチングソリューションの提供に努めていきます。特に、私たちが新しく定義した「人材マッチング市場」においては、非効率や不便、ミスマッチといったグローバルで共通の「不」がまだまだ多く存在しています。私たちは、グローバルな人材市場におけるこのマッチングのプロセスについて、テクノロジーの活用により飛躍的に効率化できると考えており、それによってこの「不」を解消し、人々の幸せに貢献していきたいと考えています。

「人材マッチング市場」は、求人広告および採用ツール市場、人材紹介およびエグゼクティブサーチ市場、人材派遣市場の総称であり、市場規模は世界で1,500億米ドル以上*1と推定しています(図1参照)。求人広告および採用ツール市場の中のオンライン求人広告市場は、HRテクノロジー事業の主な展開領域です。メディア&ソリューション事業のオンライン求人広告事業も、この市場で事業展開しています。市場規模は世界で150億米ドル*2程度と推定しています。

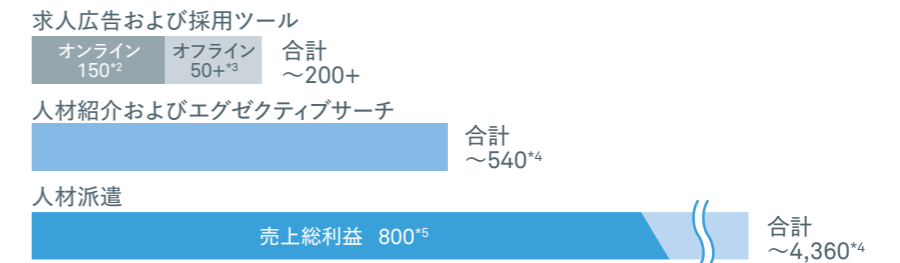
人材紹介およびエグゼクティブサーチ市場は、世界で540億米ドル*4程度と推定しています。当社メディア&ソリューション事業の人材紹介事業、HRテクノロジー事業で2016年に開始した「Indeed Hire」はこの領域に属します。中長期的にはこうした分野で新規事業を開拓したいと考えています。

また、人材派遣市場の市場規模はさらに大きく、売上から派遣スタッフへの給与支払などを控除した売上総利益を市場規模とすると、世界で800億米ドル*5程度であると推定しています。

これらの1,500億米ドル(円ベースでは約16兆円)以上*1の「人材マッチング市場」規模に対して、2019年3月期における当社の事業規模は約8,700億円*6と、成長余地は大きいと考えています。私たちはテクノロジーを駆使し、社会の「不」の解決に真摯に向き合いながら、この「人材マッチング市場」の全域において、グローバルリーダーとなることを目指していきます。

(図1) 人材マッチング市場*1

(単位:億米ドル)



■ 持続的な企業価値向上のための コンプライアンスとダイバーシティ

リクルートグループは、持続的に社会・産業に価値を提供し続ける上で根幹となるコンプライアンス活動に全社をあげて取り組んでいます。各国・各産業における法令はもとより、リクルートグループ倫理綱領をはじめとした社内規程の遵守を徹底するよう努めています。変化の激しい社会環境であるからこそ、高い倫理観に基づいて誠実に行動し、個人ユーザーや企業クライアントをはじめとするさまざまなステークホルダーから信頼されるパートナーとなるべく、継続的な教育や改善・モニタリングなどの施策を実施するとともに、個人情報保護やサイバーセキュリティなど、テクノロジーの急速な発展に伴うリスクに対しても、当社の最重要事項のひとつとして対策を強化しています。

*1 求人広告および採用ツール市場、人材紹介およびエグゼクティブサーチ市場および人材派遣市場それぞれの市場規模に関する当社グループによる推計値の単純合計額。いずれも外部の統計資料や公表資料を基礎として当社グループが推計したものであり、その正確性には統計資料や推計に固有の限界があるため、実際の市場規模は推計値と大きく異なる可能性があります

*2 2018年における当社グループがHRテクノロジー事業のサービスを提供している国のオンライン求人広告におけるIndeedおよび主要な競合他社の売上総額についての外部調査機関のレポートの数値を、当社グループの推計に基づき一部保守的に修正した金額に、LinkedInのタレントソリューション事業の売上金額について同社の公表資料から当社グループの推計に基づき保守的に修正した値を合算した額

*3 オンライン求人広告および採用ツール市場の150億米ドルに、2018年における広告市場全体におけるオンライン広告およびオフライン広告(新聞、雑誌、他の印刷広告を含み、テレビ、映画およびラジオ広告等を除く)の比率(外部調査機関のレポートに基づく)を乗じた額

*4 SIA (Staffing Industry Analysts), 「Global Staffing Industry Market Estimates and Forecast: May 2019 Update」に基づく2018年の売上金額

*5 SIA, 「Global Staffing Industry Market Estimates and Forecast: May 2019 Update」に基づく2018年の人材派遣市場の売上金額4,360億米ドルに、2018年におけるグローバル人材派遣上場企業の売上金額上位3社の売上に総利益率の加重平均18.3%を適用して算出した額

*6 当社の2019年3月期におけるHRテクノロジー事業の売上収益、メディア&ソリューション事業の人材領域の売上収益、人材派遣事業の売上収益から派遣スタッフに支払う給与などを除いた金額の合計

私たちは、多様性（ダイバーシティ&インクルージョン）を含めたサステナビリティ推進においても、方針を定め実施体制を強化しています。特に、従業員が多様な個を活かせる環境を整えることは、競争優位性の獲得という観点からも不可欠です。女性の活躍支援はもとより、育児や介護などにより時間の制約がある方々や、LGBTQをはじめとするセクシュアル・マイノリティの方々など、多様な個が活かされる仕組みを整えています。

また、取締役会における多様性の確保は、企業の長期的成長に向けたイノベーション促進に不可欠です。そのため、取締役候補者の選定にあたっては、多様性を担保した候補者群からスキル、リーダーシップ、バックグラウンド、判断力、人格、見識、経験などを考慮し、取締役の職務と責任を全うできる候補者を選定する方針です。現在の取締役構成については特にジェンダー観点での多様性が不足していると認識しています。そのため、取締役会において2021年6月までの定時株主総会における取締役選任議案に、少なくとも一人の女性取締役候補者を選定する方針を定めました。

～ステークホルダーのみなさまへ～

リクルートグループは先述の「人材マッチング市場」における効率化や、メディア&ソリューション事業における販促領域のさらなる進化によって社会に新しい価値を提供し、企業価値の持続的な向上を実現していきます。この点、冒頭で触れたSDGsにおいては異なる人々のパートナーシップが重視されています。人々が自分らしい人生を送ることができる社会が実現されるためには、すべての人が力を合わせる必要があります。

私たちは、一人ひとりのユーザー、顧客である企業、従業員、派遣登録社員、サプライヤー、投資家と株主、市民社会など、あらゆるステークホルダーのみなさまの声に真摯に耳を傾けながら、「まだ、ここにいる、出会い。より速く、シンプルに、もっと近くに。」というミッションの実現に、全力で取り組んでまいります。

代表取締役社長 兼 CEO

峰岸 真澄

